



ニッポン
ドクター和の

臨終図巻

長尾和宏（ながお・かずひろ）医学博士。大阪大学医学部卒業後、大阪大学第二内科入局。1995年、長尾クリニックを開業。外来診療を主とし、在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指し、「痛くない死に方」は「ずいずい」ベストセラー。関西国際大学客員教授。

「あなたに抱かれてわたしは蝶になる」。不思議なリズムの蠱惑的（こわくてき）人を惹きつけ、惑わす」などの歌を聴いた時、私はまだ小学生だったと記憶しています。

女の人は抱かれるとチョウになっちゃうの!? 想像力のなかった少年は、その妖しい歌詞の意味を親に聞く勇氣もなく、この歌がテレビで流れるたび、かぶりつくように見ていました。

そんな私のアイドル原体験である森山加代子さんが、3月6日に大腸がんのため亡くなりました。享年78。

森山さんが食欲不振と体調不良を訴えて都内の病院に入院したのは今年の2月のこと。しかし、すでに大腸がんのステージ4で、手の施しようがなかったようです。ただ誤解しないでほ

97 歌手 森山加代子



しいのは、「ステージ4（三アライコル）ほとんど等しい）助からない」というわけはありません。

大腸がんのステージ4といえば、肝臓や肺、脳などの離れた臓器まで転移している状態ですが、治療で完治する人はいます。諦めるのがモットーはないのが大腸がんです。

しかし、森山さんの病状はかなり厳しかったのでしょうか。一

「平穏死」と「満足死」

部の報道によれば、ご本人には「がん」と伝えず、腸閉塞（へいそく）と話していたようです。発見時にすでに治療の余地がない場合には、ご家族の希望に従い「がん」と伝えないことは今でも時々あります。しかし、本人は薄々気づくことの方が多いのではないのでしょうか。中島みゆきさんの『永遠の嘘をついてくれ』という名曲があります。永遠の優しい嘘です。

森山さんは亡くなる5分前に、マネジャーで夫であった正和さんに「お父さん、ありがとう。迷惑かけたね」と伝えたそうです。

死の直前までそんなに意識がはっきりしているものかと驚かれる人もいるかもしれません。

以前、小林麻央さんが亡くなる直前に海老蔵さんに「愛している」と言ったとい

いう話に対し、「作り話だろう」と疑う医者が多くいて、私はショックを受けました。そう言う医者は、残念ながら平穏死を知らないだろうからです。

過剰な延命治療や鎮静をせず、枯れていくように亡くなる姿を見たことがない。死の直前まで水を飲み会話が出来る人は珍しくありません。在宅医療の現場では、それが日常。家族もすっかりとお別れができるので、本人にとっての「平穏死」は、看取った家族にとっては「満足死」となります。

そうはいっても、最期に何もしないのはかわいそうで見られないという人もいます。しかし医療は何もしないわけではありません。少量の点滴や痛みに対して医療用麻薬で十分な緩和ケアをします。

森山さんは病院で平穏死で亡くなったと想像します。そして大好きな夫に抱かれながら本当にチョウになって飛び立っていました。